

中国地域ニュービジネス優秀賞

表彰事業

「品質」をキーワードにしたカット野菜の製造・販売システムの構築

倉敷青果荷受組合

理事長 とみもと しょうさく
富本 尚作



受賞理由

平成10年に洗浄殺菌カット野菜工場を立ち上げ、19年までに5期の拡張工事を行い、西日本最大級規模のカット野菜工場になった。その後も品質管理の向上、生産性の向上のための設備増強を行う一方、HACCP（危害分析重要管理点）の導入、卸売市場業界では初のISO22000食品安全マネジメントの認証取得など、すべての行動を「品質」で説明できる機関となることを追及している。流通の完全コールドチェーン化、トレーサビリティ可能な体制確保、契約栽培による産地間リレーで周年安定供給、月間、年間値決めによる価格安定、そして環境面の取組では大量発生する生ごみを飼料化、肥料化し契約生産農家で使用するなど地域内循環型の食品リサイクルを実現している。こうした努力が認められ「国産野菜の生産・利用拡大優良事業者表彰」で2度の農水大臣賞を受賞した。取引先は中四国から九州、近畿まで広がっており、売上高も20%増と高い成長率を示している。

（ポイント）・卸売のメリットを活用しながらカット野菜部門に進出。

- ・受注はIT化を進めており、FAXもOCR方式で受注の迅速化、ミスの減少に貢献。受注システムと連動した検品システムはミスや品物傷みのない箱詰めができる仕組み。
- ・室温をコントロールした生産設備、完全コールドチェーン化した流通システムの整備など、「品質」をキーワードに設備・体制を整備。
- ・契約栽培によるリレー出荷、貯蔵施設の増設などで安定価格・安定供給に努めている。
- ・山陽自動車道早島インターから10分という地の利を生かして広域に対応し、120社、1,050店舗に配送。大手企業からの受注が増えている。

事業概要

昭和21年に設立。青果卸売業者として事業展開してきたが、高齢化、女性の社会進出による惣菜、弁当といった中食、外食が拡大しており、こうした食生活の多様化、環境の変化をとらえて、平成10年よりカット野菜部を設立した。西日本地区では最大級規模の洗浄殺菌カット野菜工場に育っており、365日24時間操業で約200人のパート社員の雇用の場となっている。ITを軸に受注、生産、配送までが、長年のノウハウ、きめ細かな配慮を組み込んだシステムとして運用されている。

会社所在地	〒710-0833 岡山県倉敷市西中新田525-21		
T E L	086-425-2100	U R L	http://kuraka-g.com/
会社設立	昭和21年1月	従業員数	233名(平成23年3月31日現在、パート含む)
資本金	27百万円	売上高	7,635百万円(平成22年12月期)

『カット野菜の製造・販売』

青果卸売業者による新たなビジネスモデルの構築

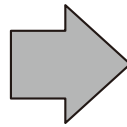
■青果物需要の変化

高齢化、単身世帯、女性の社会進出の増加により食の外部化が拡大家計消費が減少⇒加工・業務用(中食、外食等)が増加

■従来の量販店中心であった供給から加工・業務用にも対応できる体制を目標に、平成10年戦略的部門としてカット野菜部を設立。

■顧客満足度の向上

平成21年ITを活用した受注システム、ピッキングシステムの導入完全コールドチェーン化・低コスト化の施設・機械の導入



コスト削減、納期短縮化、誤配送・品質クレームが減少

■安全・安心への取組み

契約仕入による国産野菜の利用拡大、トレーサビリティの取組

■高品質な商品作り

青果卸業界初の『ISO22000食品安全マネジメントシステム』の認証取得による、衛生・品質管理の高度化

■新たなビジネスモデルの構築

従来の青果卸業界の仲介機能から発生する自由化される卸売手数料に依存しないで、自ら付加価値商品を製造、末端のユーザー(全国120社1,050店舗)へ直接販売して、新規の販路を拡大。



カップサラダ作りにセル生産方式を導入



カット作業の機械化